

活動報告

団体名	YNF
活動名	西日本豪雨における緊急対応活動及び地元団体の人材育成活動等
活動期間	2018年7月～2018年10月
活動の成果	<p>【福岡市緊急災害ボランティアセンター設置・運営】 行政、地元社会福祉協議会、地元自治協議会などとミーティングの場を設置することで、情報共有の円滑化を図り、作業以外でも保健師の派遣など包括的な支援体制が構築できた。</p> <p>【現地支援団体へのサポート】 現地支援団体に対し、先災地の事例を対話形式で丁寧に伝えることで、フェーズの移り変わりに伴うニーズの移行事例を伝えるなどした。</p> <p>【社会福祉協議会への研修支援】 地域支え合いセンターの設置に向け、熊本での課題等をベースに宇和島市社会福祉協議会向けに研修会を行った。西予市においては、ジョージ防災研究所に協力して、過去の具体事例を提供し、研修や打ち合わせに参加した。</p> <p>【避難所アセスメント】 災害救助法に関する資料提供を行うと同時に長期避難が懸念されていた地域には、避難所での公的支援制度の説明会なども行った。大洲市においては、避難の長期化が懸念される世帯に対し、市職員に同行し、個別に聞き取りを行い、対応を行った。</p> <p>【外部団体コーディネート】 従前から連携実績のある外部団体を活動内容や強みを考慮して現地団体につなぐほか、現地の土業団体を現地の支援団体につなぐなども行った。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>ボラサポ募金は私たちの様な、現地で支援を行う団体にとっては、使いやすく、また数少ない活動資金になっています。</p> <p>災害はある日突然発生することから、災害支援活動もある日突然始めなくてははいけません。また、災害はそれぞれで状況が異なることから、事前に活動計画を作っておくわけにもいきません。</p> <p>こうした背景もあり、私たちの様な災害支援団体は、活動資金の調達に苦労するのですが、ボラサポ募金はそうした部分をカバーしてくれる存在です。</p> <p>平成30年は災害が非常に多かった年でもありますが、皆様のボラサポ募金へのご協力が私たちの活動を後押ししてくれることで、なんとか乗り切らないといけない、と改めて感じます。</p> <p>被災された方、一人のひとりの生活再建にはまだまだ時間がかかりますが、精一杯サポートしていきますので、今後ともボラサポ募金ともどもよろしくお願いいたします。</p>

(活動のようす)

